

10月24日・25日に、県主催の原子力総合防災訓練が行われました。

今回の訓練では、地震により美浜発電所が外部電源を喪失、その後、全面緊急事態まで進展。放射性物質が施設外に放出される事態を想定して実施されました。

訓練には、美浜発電所から半径30km圏内の県内7市町に加え、国や福井県、滋賀県、岐阜県、兵庫県、奈良県、石川県、自衛隊、消防、電力事業者等の関係組織・機関が参加し、町からは、住民約210人が町外への広域避難訓練に、また、それ以外にも多くの方が屋内退避訓練に参加しました。

町では、町原子力災害対策本部の運営訓練として、町原子力災害現地対策本部（美浜オフサイトセンター）とのテレビ会議による情報共有や町民への情報伝達訓練等を実施したほか、災害状況の確認、住民への周知及び防護措置の実施等、原子力災害時に町や住民がとるべき行動等を確認しました。

今回の訓練内容

■目的

- ①美浜地域の広域避難計画（緊急時対応）に基づく避難手順の確認
- ②原子力緊急事態における対策本部と現地の体制や情報伝達手段等の確認 等

■町での訓練内容

①職員参集及び町原子力災害対策本部・美浜オフサイトセンターでの町原子力災害現地対策本部運営訓練

- ▶警戒事態から全面緊急事態、放射性物質放出に至るまでの災害対策、本部会議、合同対策協議会への参加
- ▶美浜オフサイトセンターや県（国）とのテレビ会議による情報共有



↑各機関をつなぐテレビ会議（町役場）



↑合同対策協議会（美浜オフサイトセンター）

②住民への情報伝達訓練

- ▶防災情報伝達システム（屋外スピーカー、戸別受信機、ホームページ、防災アプリ）、行政チャンネル、緊急速報メール等

③屋内退避訓練【UPZ 圏内（※1）地区】

- ▶町原子力災害対策本部からの屋内退避指示に基づき、自宅等において訓練を実施

※1 美浜発電所から半径おおむね5km～30km 圏内



↑防災アプリ



↑屋外スピーカー

④住民避難（一時移転）訓練【東地区及び新庄地区】

- ▶美浜発電所から半径5km圏内地区（PAZ 圏内）及びUPZ 圏内の東地区の住民が町外（おい町）へ避難（一時移転）
- ▶地震による孤立を想定した、ヘリによる避難



↑一時集合施設からおおい町へバスで避難（農村婦人の家・山上）

⑤消防団活動訓練【東地区（美浜消防団第2分団）】

- ▶地元消防団により避難の呼びかけ、一時集合施設への誘導、区内の見回りを実施

⑥安定ヨウ素剤配布訓練

- ▶バス避難：一時集合施設のバス車内で看護師・保健師等の問診を受け配布
- ▶マイカー避難：美浜総合運動公園でドライブスルー方式により薬剤師・保健師等の問診を受け配布



↑避難されてきた住民の受け入れ（おい町・総合体育館）

⑦スクリーニング検査

- ▶避難経路途中のうみんぴあ大飯で実施

⑧住民講習会

- ▶避難先（おい町・総合体育館）にて、放射線やスクリーニング等の基礎知識についての講習会を開催



↑避難する住民のスクリーニング検査（おい町・うみんぴあ大飯）



↑避難するバスの汚染検査（おい町・うみんぴあ大飯）



↑原子力防災の基礎知識についての講習会（おい町・総合体育館）

戸嶋町長 講評（一部）

10月25日（訓練最終日）
美浜オフサイトセンターにて



今回の訓練は、美浜地域の緊急時対応に基づき行う訓練として実施しましたが、万が一の時には国や県、関係機関が総力を上げて、住民が安全に避難するための体制と組織力が機動的に構築、実行されることを改めて実感しました。

災害時には、事象の進展に応じて、住民の皆さんが的確に状況を把握して取るべき行動を認識できるようにすることが肝要であると考えています。今回の訓練では、防災行政無線や屋外スピーカー、防災アプリ等に加え、ケーブルテレビでの緊急放送のほか、LINEを活用した情報提供が行われ、特にLINEの画面は、視覚的にも見やすく、円滑な避難行動に繋がる効果的なシステムであったと実感しました。

防災力の充実強化には、訓練を重ね、さまざまな課題の洗い出しや共有により、習熟度を上げ実効性を高めていく必要があるため、町としても引き続き取り組んでいきます。

※お問い合わせ先

町エネルギー政策課
危機管理対策室（担当・真田）

☎ 32-6716

↓ 牧田茂男会長（中央左）に目録を渡した加茂代表取締役（中央右）



町の小地域福祉活動のために 株式会社カモコンが町へ寄付

10月29日に、町役場で株式会社カモコンから町民生児童委員連絡協議会へ寄付の贈呈が行われました。
この寄付は、同社が創立60周年を迎え、地域へのお礼と社会貢献を目的としており、今回、同社から町民生児童委員連絡協議会に60万円を寄付されました。
贈呈式で、加茂直人代表取締役は「地域での福祉活動に役立てていただきたい」と話されていました。

↓ 総会本番で想定される質問に回答する美浜中学校の生徒



今後の中学生議会の実現に向けて 美浜中学校の生徒が議場を活用

11月7日に、美浜中学校生徒総会のリハーサルが町役場本会議場で行われました。
この取り組みは、町議会の開かれた議会の推進と中学生への主権者教育の一環として行われたもので、美浜中学校の生徒会長ら10人が議場での質疑を行いました。
生徒らは、理事者側の席で議場の雰囲気を感じながら、総会本番に想定される質問に堂々と回答していました。

↓ 佐田伝統文化保存会による七不思議の解説を聞く参加者たち



学びながら地元を歩く 美浜町ハートフルウォーク2025 ～佐田の七不思議にふれてみよう～

11月2日に、美浜町ハートフルウォーク2025が美浜東小学校を発着地として行われました。
この催しは、町民の健康増進と意識向上を目的に、山東公民館や町健康づくり推進協議会等が開催したものです。
参加者は、佐田地区や山上地区を周り、地域に伝わる遺物の七不思議に触れながら、普段車で走る道を楽しく歩いていました。

↓ 美浜西小学校による合唱



練習の成果を音に込めて 美浜町小学校音楽学習発表会

11月13日に、令和7年度美浜町小学校音楽学習発表会がなびあすで開催されました。
発表会では、町内3小学校の5年生が、合唱や合奏を披露しました。
参加した児童たちは、この日の発表に向けて練習した成果を発揮し、息の合った合唱や合奏を披露するとともに、他校の発表に聞き入っていました。

↓ 参加者と太鼓の達人で対戦する、ゲストのよみいさん（左）



ボードゲームやテレビゲームが満載 なびゲーランド

11月8日に、ゲームを使った学びと楽しさを体験するイベント「なびゲーランド」がなびあすで開催されました。
このイベントは、若者をターゲットにしたイベントを企画するなびあす若者実行委員会「Art Fox」が開催したものです。
当日は、ゲストに人気YouTuberのよみいさんを迎え、太鼓の達人の大会やマイクラフトを使った環境学習ゲーム等が行われ、来場者はさまざまなゲームを楽しんでいました。

↓ サツマイモ掘りをするせせらぎ保育園の園児たち



おっきいお芋がたくさん！ せせらぎ保育園 サツマイモ掘り体験

10月21日に、せせらぎ保育園の4歳児と5歳児によるサツマイモ掘り体験が新庄大谷原で行われました。
この体験は、子どもたちが作物の生育や収穫に関わることで、食育と地域との交流を図ることを目的に行われ、当日は保護者や地域のボランティアも参加しました。
園児たちは、春に自分たちで苗を植えた畑で勢いよく土を掘り起こし、たくさんのサツマイモを収穫していました。

↓ 手作りおもちゃを製作する参加者たち



お菓子をくれなきゃ、イタズラするよ？ ちびっこハロウィン

10月28日に、ちびっこハロウィンがはあとぴあで開催されました。
この催しは、ハロウィンイベントで親子が交流し、楽しんでもらうことを目的に子ども・子育てサポートセンターが企画したものです。
当日は仮装した子どもたちが、ゲームやダンス等を楽しみ、会場は笑顔にあふれていました。



まちウォッチング
atching

まちウォッチング special photo report 特別編

文化にふれる秋の一大イベント
なびあすアートフェスタ2025

10月29日から11月6日にかけて、なびあすアートフェスタ2025 文化交流祭が開催されました。
このイベントは、文化協会や各種団体等が参加し、広く「文化・芸術」を発信することを目的に毎年開催しています。
会場では、町民の皆さんによる作品展示や体験コーナー、ステージ発表等が行われ、訪れた人たちは展示作品や発表等を鑑賞しながら文化の秋を堪能していました。



みはまのまなび通信

vol.6

学びの舞台は、 まちの中に

「こんなに主体的に動く高校生がいるなんて——」
学びコミュニティKaiの先輩たちが取り組んだ「おかしな美浜プロジェクト」に触れたとき、1人の生徒は衝撃を受けました。授業や部活動では経験できない、町の中で自分の思いを形にする姿。この出会いが、すべての始まりでした。そこから彼女は、高校生サミットや自分のマイプロジェクト、さらには地域イベントのボランティア等、活動の幅を広げていきます。



↑マイプロジェクトの先輩に相談する様子



↑英語のワークショップを実践する様子

「英語が好き」から始まったマイプロジェクト。活動を重ねる中で、生徒は「次に何をすれば良いだろう」と迷いながらも、自分で考え行動する力を身につけていきました。子どもから大人まで楽しめる授業を通して、自分の思いを伝えることに喜びを感じている様子は印象的です。地域活動を通して、学び続ける楽しさや好奇心を持ち続けられることに気づき、活動を広い視点で捉える力も育ってきました。その姿に刺激を受けた後輩たちも、自分のテーマを見つけ挑戦を始めています。こうした循環こそ学びの原点であり、学びの舞台が「美浜」にあります。



高橋はるかさん
(日向)

学びコミュニティKaiの生徒「Step into foreign language world」をテーマにマイプロジェクト挑戦中！

好きから広がる マイプロジェクト



↑地域の大人に行動の原動力をインタビュー

活動前は「挑戦したい気持ちはあるけど行動できない」自分がいました。今は挑戦し続ける先輩や仲間、コミュニティの場のおかげで思い立ったらすぐ動き、「挑戦」を選ぶようになりました。佐津間さんとお話し、自分の「好き」は間違いじゃないと確信し、そのアティチュードを見習おうと思っています。美浜での新しい挑戦が楽しく、毎日が充実していると実感しています。

町民の声 Voice



英会話にハマる66歳
佐津間正志さん
(郷市)

スキー場での出会いがきっかけで英会話を開始。NOVAやアプリで学び、豪華客船のボランティアで外国人と交流。好きなことに全力になれるのは年齢に関係なく、語学の魅力にハマっています。是非、一緒に英会話を楽しませんか？

フリーコーナー Free space

まほらび、始動！

「まほらび」は高校生以上の大人の交流の場。初めての方も大歓迎！詳細はInstagramをご覧ください！



教育・まちづくりについて感じたことを教えてください。左記二次元コードからアンケートにご協力をお願いいたします。今後の参考とさせていただきます。

お問い合わせ

放課後教室サン
学びコミュニティ Kai 050-5482-3342
(担当：和田)

まちづくり推進課
シナプスプロジェクト推進室 32-6701
(担当：久木)



WEB



INSTAGRAM



YOUTUBE

みはまシナプスプロジェクトって？

JR美浜駅～なびあすを舞台に、3つのテーマをもとに「美浜らしいにぎわい」を育てるプロジェクトが進行中。

- 1 学びと挑戦を育む "人づくり"
- 2 優しい回遊空間を創る "空間づくり"
- 3 共創の軸線を貫く "コンテンツづくり"



サンやKaiの活動も"人づくり"の一環。町の未来を、みんなで少しずつ形にいきましょう！



SYNAPSE
みはまシナプスプロジェクト